# 平成２４年度　第４回　社会教育委員会　議事録

日　時：平成 25 年３月 21 日（木）　午前９時 30 分～午前 11 時 50 分
場　所：東浦町文化センター 視聴覚室
出席者：社会教育委員　梶川達彦、長坂典子、鈴木万里子、石原弘幸、久米清之、
田頭美紗子、岩田　均、万徳久志、恒川　渉、松下玲子
事務局　教育長、教育部長、生涯学習課長、中央図書館長、
スポーツ課長、生涯学習課長補佐、生涯学習指導員
欠席者：川澄知里委員
１　開　　会
２　あいさつ
（１）委員長
・春らしくなった。本日の議題「平成２５年度教育部予算」については、計画に肉付けするためにも多くの意見を願う。
・本日の会は、１年の締めくくりであり、次年度への助走でもある。
（２）教育長
・桜の開花時期について思う。
・本日早朝の暴風警報発令のように、春先は気象も急変する。お互いに心しておきたい。
・本日の議題である「平成２５年度教育部予算」は骨子である。中身に対して多くのご教示をいただき、25 年度のよりよい運営をしていきたい。
３　議事
（１）平成２５年度教育部予算について
①　生涯学習課関係
・資料を基に、概要を事務局より説明
〔質疑・意見交換〕
委員　・「北中オヤジの会」への委託金について。他の地区にも同様の会ができてきているが補助はされないのか。
事務局　・小学校区単位の活動が中学校区単位のまとまった活動に至れば、委託または補助をしていく。
教育長　・北部中オヤジの会は自主的に立ち上がった会である。活動が広がる中で、県や町の委託金を受けるようになってきた。
・他の中学校区も、活動が広がれば対象になってくるが、いつまで町の補助ができるかは明確ではない。
・こうした要望の声はありがたいことであり、東浦中、西部中それぞれが核になり小学校との連携が深まり組織立てに至ることを願っている。
委員　・事業仕分けにおいて、町民への郷土資料館の周知が進んでいないことが指摘された。25 年度は周知が推進されることを願う。
事務局　・本年度２月に、家庭の日の優秀作品の展示を郷土資料館で行ったとこ

ろ、親子での来館が多くあった。これからも、応募作品の展示を郷土資料館で行いたい。また、土日曜日での子ども向け講座・教室を25年度は計画している。

教育長　・郷土資料館は歴史愛好家が来館する歴史の館から、より拡げる意味で、陶芸棟を併設した。本年度、ポスター等の展示では親子での来館、移動美術展でのミニコンサートでは音楽愛好者の来館につながった。また、町ハイキングではスポーツ課とタイアップし、資料館もコースに含めてもらった。今後とも、郷土資料館は歴史愛好家の館という固定観念にとらわれないことが大事である。自然科学も含め幅広く知っていただく会を設け、多くの人に足を運んでもらえるように努めたい。

委員長　・様々な手立てをとり、郷土資料館の周知を高めることは本当に必要であると思う。

委員　・講座・教室は１年間通しでは長期間で不自由という声があり、短期間の講座・教室が増えていることはよいと思う。

・託児付き講座について、はなのき会館の託児用の部屋の床は冷たく滑りやすい。改善への配慮がほしい。

事務局　・はなのき会館では、料理やパン作りが託児付きで行われている。25年度の改善は検討中である。

事務局　・各コミュニティセンターには和室もある。料理講座・教室ははなのき会館でという固定観念ではなく、各コミュニティセンターでの活動も工夫したい。

委員　・郷土資料館秋の企画展「神社展」の内容の詳細を教えてほしい。

事務局　・詳細は今後詰めていく。各神社を訪ね、借用物が定まったところで計画を作成していく。

委員　・ぜひ足をよく運んでいただき、掘り出し物を見つけていただきたい。

委員　・平成25年度の生涯学習の重点課題を明確にして進めていただきたい。幅広い内容は良いが、これからさらに力を入れてほしいことは、日本人の長所である「物作り」である。子どもの頃から物作りに親しませることが大事であり、町社会教育で力を入れ重点化してもらえるとありがたい。

委員　・今の子供たちは自分の手で物を作ることが少ない。過日、課外活動で小学校３年生に彫刻等を扱う活動をしたところ喜んでしていた。学校の授業現場では刃物を扱う機会が減っているので、物作り講座・教室の開設はいいことである。

委員長　・子供の講座に物作り教室をもう少し増やしたいという声だと思う。

事務局　・現在、料理やパン作りなど、物作りの講座はある。今後は親子で物を作る講座を考えたい。社会教育は講座・教室がメインであり、25年度からカリを見直した。１つは、大学との連携講座の開設である。星城大学との連携を5回予定している。26年度はさらに拡げたいと思う。

委員長　・将来的にぜひ増やしてほしい。

②　図書館関係

・資料を基に、概要を事務局より説明

〔質疑・意見交換〕

委員　・知多5市4町以外との相互利用の状況はどれほどか。

事務局　・現在の登録状況をみると、東浦町民で刈谷市の図書館を利用している人は約400名、刈谷市民で東浦町の図書館を利用しているのは約120名である。刈谷市の図書館は蔵書数も多いので刈谷市図書館を利用する東浦町民はさらに増えると思われる。東浦町の図書館を利用する刈谷市民が増えるように努力したい。

委員　・他市町の図書館を利用する際の図書カードはどういう状況か。

事務局　・利用する際はそれぞれの市町の図書カードを申請し用意してもらっている。これから相互利用が始まる高浜市は、これまでは東浦町民は申請しても図書カードをもらえなかった。

委員　・自分の蔵書本を寄贈したいが、どのような手続きになるか。

事務局　・図書館に出向いていただき、図書館員が確認した後、寄贈として受け付ける。その後、内容に応じて開架、閉架等で対応する。

委員　・電子書籍の予算はついていないのか。

事務局　・著作権協会と作者の最終的合意がされていない。DVD等、著作権について許可が降りた物を置いている。

委員　・電子書籍は便利である。町として、周りの市町の動向を見てから始めるという姿勢ではなく、よいことは率先して始めてほしい。

委員長　・電子書籍導入はぜひ研究してほしい。子供は身近に活用している。

②　スポーツ課関係

・資料を基に、概要を事務局より説明

〔質疑・意見交換〕

委員　・スポーツ推進委員費についてお尋ねしたい。スポーツ推進委員行事日当はどんなときに支給されものか。

事務局　・ニュースポーツの紹介などの行事に参加したときなどに対応している。

委員長　・全体を通して、質問や意見があれば出していただきたい。(質問・意見なし)。

・平成25年度の活動の充実を願い、議事を終了とする。

4　閉会